

第3次東遠地域広域障害者計画についての意見

連番	市名	頁	項目	ご意見等	3市の考え方
1	掛川市 菊川市 御前崎市	57	第5章 施策の推進 5 雇用・就労の支援	雇用・就労の支援について 障害者の雇用の推進は大切なことです。一方、生きにくさを感じている方々・LGBTQ+・余計者（触法障がい者）・ひきこもり等の方々の就労については、この計画には載せてないことは理解できます。しかしながら、その人たちを排除することもできません。「ワークダイバシティ」という考え方も取り入れながら多くの方々が少しでも働けることができる仕組みを作り上げることは大切と感じます。そのあたりは計画（啓蒙）には反映できないものなんでしょうか。	ひきこもり等の生きづらさを抱えている様々な方々については、障害者計画には掲載はありませんが、各市、次期地域福祉計画等にて、働き方を含めた支援や、目指すべき方向性を検討していきたいと考えています。
2	掛川市 菊川市 御前崎市	54	第5章 施策の推進 2 権利擁護と差別解消の推進	権利擁護と差別解消の推進 権利擁護と言えば「成年後見制度」であるような内容になっているのではないかと感じます。権利の行使についての言及が少ないと感じます。特に参政権については大きな課題があります。行使したくてもできない人（例：会場まで行けない人、選挙方法がわからない人等）への支援の必要性はあるのではないのでしょうか。政治には無関心にはなれるが無関係にはなれません。支援を施すと対象者の選挙行動は変わるという先行研究もあります。福祉の枠を超えた職種連携で選挙件行使がしやすいやさしい街づくりになればと切に願います。一歩進んでみたらどうでしょうか。	国の第5次障害者基本計画における「行政等における配慮の充実」の中でも「選挙等における配慮等」があり、移動に困難を抱える障がい者に配慮した投票所のバリアフリー化、障がい者の利用に配慮した投票設備の設置、投票所における投票環境の向上に努めるとされていることから、東遠地域においても担当部署と連携しながら、投票所等での障がいのある方への配慮を進めていければと思います。
3	掛川市	-	-	こどもの高次脳機能障害については、発達障害として扱われている場合が多いです。支援の手立ても発達障害にはありますが、高次脳機能障害にはないので仕方がない事かと思えます。しかし、病気や事故などが原因の高次脳機能障害の場合、病前の生活のイメージをもっていることで少し対応に注意が必要だと考えます。支援する方には、高次脳機能障害についても知っていただきたいです。	ご意見ありがとうございます。 高次脳機能障害について、東遠地域自立支援協議会にて、支援者に対する勉強会等についても検討していきたいと考えます。 また、高次脳機能障害を含めた障がい全般に対する理解を深められるよう、周知・啓発に努めてまいります。

※ 連番1～2は同じ方からの質問です。